

漁業者による夏休み水産教室

7月28日に南伊豆町大瀬海岸で、伊豆漁協南伊豆支所の青年部による水産教室が行われました。今回で20回を迎え、町内の小学4～6年生67名がイカ干物づくり、体験乗船、磯観察、磯生物の味噌汁づくり、マダイの放流を行いました。体験乗船では波が高く、神子元島への上陸はできず残念でしたが、自分で作ったイカの干物や磯で採取した生物の味噌汁は、格別な味として良き思い出になったことと思われます。



また、8月1日には東伊豆町稲取の志津摩海岸で、伊豆漁協稲取支所の主催による磯の体験学習が行われました。町内の小学5,6年生12名と中学生11名の計23名が参加しました。漁業者と一緒に素潜りや磯生物の観察を行い、磯でしか味わえない貴重な体験を通して、漁業者から様々なことを学んでいた様子でした。素潜りは稲取地区の伝統漁法でもあり、子供たちが地元の伝統を継承してくれるとともに、将来の漁業の担い手となってくれることを願います。



(萩原快次)